資料 9

平成 29 年度防災週間について

1 目　的

未曽有の被害をもたらした東日本大震災の記憶を風化させないようにするとともに、市民の皆様が被災地への理解を深め、防災への意識を高めていただく機会とするため、震災発生日の 3 月 11 日に合わせた約 1 週間を防災週間として設定し、期間中、講演会、企画展及びバスツアーといった啓発事業を実施します。

2 期　間

平成 30 年 3 月 7 日（水）～3 月 13 日（火）

3 講演会

(1) 内容

① テーマ：「その時のために」
～いわき市の避難所運営から学ぶ要配慮者対策～

② 講師：佐藤　トミ子（さとう　とみこ）氏
いわき市地域婦人会連絡協議会副会長､いわき市四倉方部赤十字奉仕団委員長、久之浜・大久町更正保護女性会会長、いわき語り部の会所属

③ 講師プロフィール

講師は、震災時、避難所運営に携わり自主防災組織のリーダー的な役割を担い、現在は震災の語り部として活動されており、当市において昨年 7 月に実施した「平成 29 年度　東日本大震災被災地視察市民ツアー」における現地での講師でもあります。

今回は、震災当時の状況や避難生活などの経験談とともに、それらの活動を通じての課題など、避難所運営から学ぶ要配慮者対策についてのお話をいただく予定です。

④ 主な内容

1　過去の津波の事実を知ること、避難の事例から命を守ること等、先行経験から学び、避難意識を高めることの大切さ。

2　避難所生活において、どのような配慮が重要であるかを経験談より語っていただき、今後の避難所運営を高める。

3　火災などの二次災害から被災者を守るため、考慮すべき、配慮すべきことを特に要配慮者（高齢者、障害者、乳幼児等）の視点から伝える。

(2) 日時

平成 30 年 3 月 8 日（木）午後 6 時 30 分～8 時（開場・受付開始　午後 6 時）

(3) 会場及び定員

羽村市生涯学習センターゆとろぎ　小ホール　　250 名（先着順）

(4) 入場料

無料

(5) 申込み方法

羽村市市民生活部危機管理課に、電話又はＥメールでお申込みください。

① 電　話：042-555-1111　内線 217　（危機管理課）

② Ｅメール：s106010@city.hamura.tokyo.jp

4 企画展

(1) 内容

①市長からのメッセージパネル展示

②東日本大震災写真パネル展示

※いわき市などの被災地の写真を展示

③宮城県高等学校文芸作品

【詩部門】最優秀賞「潮の匂いは。」展示

④東日本大震災「激震と大津波の記録」映像集の上映

⑤家具転倒防止器具、非常食、１００円防災グッズの展示

⑥羽村市ハザードマップ、防災コンパクトガイド等の配布

(2) 日時

平成 30 年 3 月 7 日（水）～13 日（火）午前 10 時～午後 5 時

※12 日（月）は休み

(3) 会場

羽村市生涯学習センターゆとろぎ　展示室

(4) 入場料及び申込み

無料　事前申込みなど特になし

5 バスツアー

(1) 内容

市内にある消防署、浄水場、備蓄倉庫（非常食の試食）、洪水浸水想定区域などを市の行政バス及び徒歩で見学し、普段からの災害に対する備えや、防災意識の向上等に役立てるために実施します。

(2) 日時

平成 28 年 3 月 11 日（日）午前 9 時～正午ごろ

(3) 集合・解散

羽村市役所 1 階市民ホール

(4) コース

別紙のチラシをご参照ください。

なお、天候により、コース変更または中止する場合があります。

(5) 対象・定員・参加費

市内在住、在勤、在学の方　　24 名　　無料

(6) 申込み方法

① 申込方法：　申込用紙に必要事項をご記入のうえ、郵送、ファックス、Ｅメールまたは直接広報広聴課にご提出ください。

② 申込用紙：　市役所 1 階案内、3 階広報広聴課、市役所連絡所及び各公共施設にあります。また、市公式サイトからダウンロードもできます。

③ 問合せ：　042-555-1111　内線 337　（広報広聴課）

※　チラシでは、受付期間を 2 月 28 日（水）までとしておりますが、定員に余裕がある場合がありますので、その場合は期間を過ぎても受付をします。

羽村市防災週間

（いわき市内の被災状況：同市提供）

平成 30 年
３月７日（水）～13 日（火）

東日本大震災から７年が経とうとしています。いつ発生するかわからない災害のために、どのように防災意識を持ち、備えることが必要なのか。

市では、東日本大震災の記憶を風化させないよう、３月 11 日に合わせ、羽村市防災週間を設定し、**企画展、講演会及び防災バスツアー**を行います。

この機会に、家族や地域の防災・減災対策について考えてみませんか。

企画展

～3.11 あの日を忘れない 東日本大震災～

防災週間の期間中、いわき市などの被災地の写真を展示するほか、防災グッズの展示も行っています。

日時　３月７日（水）～13 日（火）
午前 10 時～午後５時　※12 日（月）を除く

会場　ゆとろぎ展示室
※直接会場へお越しください。

講演会

「その時のために」　～いわき市の避難所運営から学ぶ要配慮者対策～

東日本大震災の時、いわき市で被災され、地元の避難所運営に中心的な存在として携わった佐藤トミ子さんを講師にお迎えし、実際に体験した避難所での生活や高齢者等の要配慮者への対応、課題などについてお話をいただきます。

【講師：佐藤　トミ子さん】

日　　時　３月８日（木）
午後６時 30 分～午後８時（午後６時開場）

会　　場　ゆとろぎ小ホール

定　　員　250 人（先着順）

入 場 料　無料

申 込 み　電話またはＥメールで危機管理課へ

一時保育　対象…１歳６か月～未就学児、定員…４名（先着順）
費用…50 円（おやつ代）、申込み…２月 27 日（火）まで

申込み・問合せ　羽村市市民生活部危機管理課危機管理係
電話 042-555-1111　内線 217
E メール:s106010@city.hamura.tokyo.jp

防災週間特別企画!!　参加者募集

防災バスツアー

羽村市公共施設見学会　防災施設編

平成30年3月11日（日）午前9時～

羽村市が定めた防災週間（3 月 7 日から 13 日まで）にあわせて、防災関連の施設などを巡る公共施設見学会を実施します。

いつ発生するかわからない災害に対処するには、日頃から一人ひとりが防災意識を持つことが大切です。市内の防災施設を見学し、災害に備えていきましょう。

★ツアーの内容★

【日　時】平成 30 年 3 月 11 日（日）
午前 9 時～正午ごろ（小雨決行）
【集合・解散場所】羽村市役所 1 階市民ホール
【コース】 ※天候などにより、やむを得ずコースを変更する場合があります。

① 羽村市役所
災害時の本部となる場所や、庁舎内の災害対策設備などを見学します。

→ ② 福生消防署羽村出張所
緊急車両や装備品などを見学します。

→ ③ 東京都小作浄水場
災害時に心配な「水」。東京都水道局の応急給水施設を見学します。

→ ④ 多摩川洪水浸水想定区域など
大雨時に浸水被害が想定される区域などを見て、大雨時や増水時の注意点を学びます。

→ ⑤ 東部地域備蓄倉庫
備蓄物資、機材等の説明および非常食の試食をします。

→ ⑥ 羽村市消防団第２分団車庫
災害に備えて日々訓練に励む消防団。車庫を見学し、装備品などを見ることができます。

→ ⑦ 富士見小学校
災害時に避難所になる学校の備蓄倉庫やマンホールトイレなどを見学します。

→ ⑧ 生涯学習センターゆとろぎ
防災企画展観賞、施設の耐震性や避難誘導などの防災対策を見学します。

【対　象】市内在住、在勤、在学の方
【定　員】24 人（応募多数の場合は抽選）※参加者には後日参加証を送付します。
【参加費】無　料
【申込み】2 月 28 日（水）午後 5 時まで（必着）

申込用紙⇒市役所１階案内・３階広報広聴課窓口、市役所各連絡所、各公共施設にあります
※市公式サイトからダウンロードできます
申込方法⇒郵送・ファクス・Ｅメールまたは、直接広報広聴課広報係へ

【問合せ】羽村市企画総務部広報広聴課広報係
〒205-8601　羽村市緑ヶ丘 5-2-1
TEL：042-555-1111　内線337
FAX：042-554-2921
E-mail：s102000@city.hamura.tokyo.jp
URL：http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000010805.html